

新品種候補

育種事業課題名：ばれいしょ新品種候補「北育24号」の概要（622461,611481）

担当部署：北見農試・研究部・作物育種グループ、生産環境グループ、中央農試・作物開発部・作物グループ、  
 生物工学グループ、病虫部・予察診断グループ、十勝農試・研究部・地域技術グループ

キーワード：ばれいしょ、業務加工、ポテトサラダ、多収、Yモザイク病

1. 特性一覧表

系統名：「北育24号」 組合せ：「さやか」×「K03014-1」

- 特性： 長所
- 1 規格内いも重が重い。
  - 2 ポテトサラダ加工適性が「さやか」並に高い。
  - 3 Yモザイク病抵抗性を持つ。
  - 4 そうか病抵抗性が「さやか」より優れる。
- 短所
- 1 休眠期間が短い。

普及見込み面積： 1,500ha

調査場所	北見農試(育成機関)			試験研究機関平均		現地試験平均 *1	
調査年次	平成27~30年			平成27~30年のべ12カ所		平成28~30年のべ13カ所	
項目	北育24号	さやか (対照)	男爵薯 (比較)	北育24号	さやか (対照)	北育24号	男爵薯 (比較)
早晩性	中生	中生	早生				
枯ちよう期(月/日)	9/12	9/12	8/31	9/6	9/6	9/4	8/22
終花期の茎長(cm)	67	67	53	63	58	65	50
上いも数(個/株)	11.7	9.1	11.5	14.0	10.3	12.1	10.9
上いもの平均重(g)	116	132	91	92	111	91	84
上いも重(kg/10a)	5,813	5,228	4,634	5,657	5,018	5,001	4,186
対「さやか」比(%)	111	100	89	113	100	119	100
規格内いも重(kg/10a)	4,907	4,295	3,983	4,849	4,381	4,364	3,456
対「さやか」比(%)	114	100	93	111	100	126	100
でん粉価(%)	15.9	15.0	15.2	15.0	14.6	16.2	14.8
塊茎の特性							
形	短卵	短卵	円				
皮色	淡ベージュ	淡ベージュ	淡ベージュ				
肉色	白	白	白				
目の深さ	やや浅	浅	深				
休眠期間	やや短	やや長	やや長				
褐色心腐の多少	微	微	微				
中心空洞の多少	無	無	中				
二次成長の多少	少	微	微				
打撲黒変耐性	強	強	中				
調理特性							
煮崩れ	少	少	中				
剥皮褐変	微	少	中				
調理後黒変	無	無	微				
肉質	やや粘	やや粘	やや粉				
ポテトサラダ加工適性 *2	○	○					
病虫害抵抗性*3							
ジャガイモシストセンチュウ	有(HI)	(有(HI))	無				
塊茎腐敗	中	(やや強)	(弱)				
そうか病	中	(弱)	弱				
疫病圃場抵抗性	弱	弱	弱				
Yモザイク病	強	(弱)	弱				

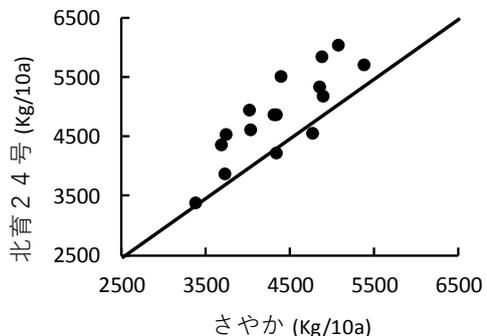


図 試験研究機関における「北育24号」と「さやか」の規格内いも重の比較 (北見農試を含む試験研究機関 H27~30年)

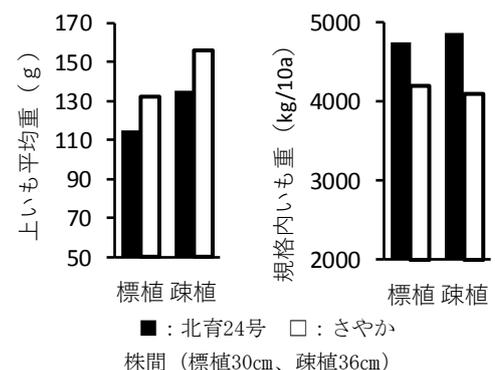


図 標準植と疎植の比較(H27~29年の平均)

\*1 現地試験において規格内いも重は中(60g)以上いも重の成績。収量比は「男爵薯」比を示す。  
 \*2 ばれいしょ加工適性研究会による総合評価(◎：良、○：やや良、□：中、△：やや否、×：否の5段階評価)  
 \*3 特性検定試験の結果による。「さやか」と「男爵薯」の括弧は既往の評価

## 2 特記すべき特徴

「北育24号」は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ業務加工用系統である。枯ちよう期は「さやか」と同等の“中”で、「さやか」より多収である。ポテトサラダ加工適性は「さやか」並に高い。Yモザイク病抵抗性が“強”、そうか病抵抗性が“中”であり「さやか」より優れる。

## 3 優良品種に採用しようとする理由

北海道のばれいしょ栽培面積は平成28年で51,200haであり、そのうち3分の1は生食用品種が作付けされている。このうちスーパー等で家庭向けに販売される市場用途が減少しているのに対し、ポテトサラダ、コロケ等に使用される業務加工用の需要は増加傾向にある。しかし、作付面積は減少の傾向にあり、業務加工用原料の安定供給のために収量性の向上が要望されている。また、ばれいしょの安定生産にとって健全な種いもの供給は重要であるが、種いも生産では罹病株の抜き取りを始め栽培管理の負担が大きいと、これを担う農家数は減少している。このため作業軽減が可能なウイルス病抵抗性品種への要望が高まっている。

「さやか」は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、ポテトサラダ加工適性が高いことから、業務加工用原料として作付けが行われている。しかし、そうか病に対する抵抗性は弱く、ウイルス病抵抗性も有していない。そのため安定多収で病害抵抗性の強い品種が求められている。

「北育24号」は「さやか」並の中生で、「さやか」より多収である。また「さやか」の有しないYモザイク病抵抗性を持ち、そうか病抵抗性は“中”であり「さやか」に優る。実需の評価によるポテトサラダ加工適性は「さやか」並に優れている。

以上のことから「北育24号」を「さやか」と置き換えて普及することにより、業務加工用原料の安定供給が可能となり、北海道ばれいしょの安定生産及び栽培振興に寄与できる。

## 4 普及見込み地帯

(1) 普及見込み地帯 北海道

(2) 普及見込み面積 1,500ha

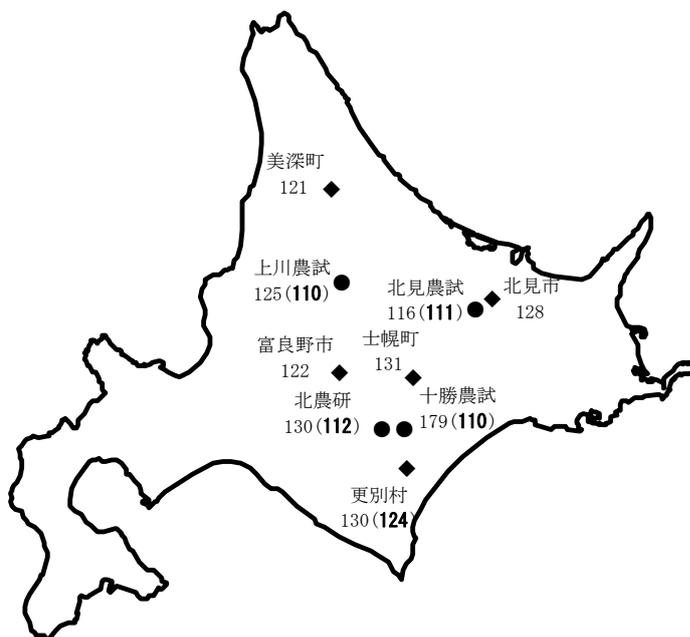


図 各試験地における「北育24号」の規格内いも重・中以上いも重(「男爵薯」対比、%)  
( )は「さやか」比

注) ●は試験研究機関(規格内いも重比)、◆は現地委託試験(中以上いも重比)

## 5 栽培上の注意

- 1) 休眠期間が“やや短”であるので、収穫後の貯蔵温度に留意する。
- 2) 上いもの平均重が「さやか」に比べ軽いので、やや疎植にするのが望ましい。

※本成果は、平成27～30年実施の農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(イノベーション創出強化研究推進事業)「実需者ニーズに対応した病害虫抵抗性で安定生産可能なバレイショ品種の育成(26090C)」の研究成果である。